

特集

スマホ時代のリスク管理

情報リテラシーを育みトラブルを防ぐ

基礎教育で教えなければならない情報リテラシー 中山和弘

病院の情報セキュリティと学生指導 美代賢吾

SNS (social networking service) を知る 前田樹海

法律家から見た情報にまつわるリスク管理 小池良輔

【新連載】

臨地実習指導者の役割 よりよい臨地実習のために・1 山田聡子, 太田勝正

【連載】

看護学校管理・運営のための12のポイント・4 鮫島陽子, 江川万千代

看護教育に協同学習法を取り入れる・4 緒方巧

富山県の「専任教員キャリア形成プログラム」作成への取り組み・4 宮本真弓ほか

国際学会へ行こう!・4 (最終回) 土師しのぶほか

我らカルガモ! 育児学生日記・7 須崎美穂

看護はやっぱり面白い!? アラフォー女子大生の「看護」探求の日々・7 片山紀子

実習の経験知 育ちの支援で師は育つ・23 新納美美

Mail From USA —『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・51 石井素子

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●クリティカルシンキング……、できていません……。企画しておいて、いきなり身もふたもないのですが、今回の特集原稿を読んでわが身を振り返ると、本当にクリティカルに考えて行動した経験がほとんどないことに愕然とします。三森さんのお原稿にもあるように、「日本で初期教育を受けた者は、それを学ぶ機会をもっていないのだから仕方ない」という言い訳は可能です。ただ、何事もそうですが、今から初期教育に戻れない以上、学ぶ機会を得てそこから改めてスタートするしかないのも確かです。●クリティカルシンキングは、看護や看護教育においてももちろん、日々生きていくのに有用であり重要です。専門教育に活かすことも大事ですが、まずは毎日の生活に取り入れることから始めてはどうでしょう。私も初心にもどって、学んでいきたいと思っています。……大野

●よくわからない言葉の意味を知りたいとき、現代っ子は検索します。私は現代っ子です。したがって「クリティカルシンキング」を検索しました(いくつか前提を端折っているものの論理的推論)。その結果、兵庫教育大学の宮元博章先生のページにとっても面白い「ジョーク」を発見しました。宮元先生に寄せられるメールの例として紹介されているもので、少し長くなりますが引用してみます。●「これからの時代はクリティカルシンキングが大切だと思います。……子ども達に、自らの頭で問題を探し、自ら考えていく力を身につけさせる授業をしたいのですが、私はこの分野に疎いので、具体的にどうすればよいのかまったく分かりません。ぜひ、ご教授ください」●たったこれだけの文章で、笑いを誘い、反省を促し、問題の所在と解決策を示唆することができるのか、と大変勉強になりました。……加藤

看護教育 第54巻 第6号 2013年6月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan

1部定価 1,470円(本体1,400円+税5%) 2013年・年間購読料(増大号を含む12冊)

冊子のみ 16,250円, 冊子+電子版(個人) 19,250円, 冊子+電子版(共有) 21,700円, 電子版/個人 16,250円,

電子版/共有 18,800円(いずれも税込, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyoku@igaku-shoin.co.jp 担当: 加藤・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつと事前に, (社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/13/¥250/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは, 1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には, 筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

Vol.54 No.5

2013年5月
特集

「狙い」に合わせた シミュレーション教育の方法

看護基礎教育の手法として、ますます注目を集める「シミュレーション」ですが、まだ体系的な方法論が示されるまでには至っておらず、各学校それぞれの工夫のもと実施されているのが現状です。しかし、なかにはタスクトレーニングに終始してしまっていたり、シミュレーションを行うこと自体が目的となってしまうと、その効果を十分に活かせていないと感じられている先生方もいるのではないのでしょうか。

そこで、今回はまず「そもそも、なぜシミュレーション教育が必要なのか」ということを基点にして、「狙い（何を学ばせたいか）」に応じたシミュレーション教育の方法を整理します。続いて、特にシナリオを用いたシミュレーションに焦点を当て、実践までのプロセスを詳細に解説していきます。これらをふまえてご紹介する実践例は、教育の一手法として効果的にシミュレーションを取り入れている先駆的なものばかりです。ぜひ、各々の「狙い」に合わせたシミュレーションを実施するための参考にしていただければと思います。

■学生の学びをつないでいくためのシミュレーション教育の位置づけ……小西美和子

■看護基礎教育におけるシミュレーション学習プログラムの設計と実践——シナリオ設計時のポイントと学生の学びを導く関わり方に焦点をあてて……藤原史博

■講義・演習・実習のつながりのなかで行うシミュレーション教育——急性期看護学領域での取り組み……大川宣容

■IDに基づいたシミュレーション教育の取り組み……増山純二

■永島美香先生に聞く——こども看護領域におけるPBLに基づいたシミュレーション教育



Vol.54 No.4

2013年4月
特集

授業設計再入門

日々講義を行う看護教員に授業設計の考え方は欠かせません。しかし、本来は看護の専門家であって教育の専門家ではない看護教員が、常に授業設計を念頭に置いて教育にあたっているかというと、正直うなずけないのではないでしょうか。教員養成講習では必ず習うはずですが、修了直後とはまったく、時間が経つに連れてだんだんと不十分になっていくことも珍しくはないでしょう。

今回の特集は、授業設計とは何かを、看護教員という立場からだけでなく、広く「教育者」という立場から振り返り、講義に臨むにあたって改めて整理し直すきっかけにしたいと組まれたものです。

教員養成講習に参加しない大学教員は特に、自ら意識して授業設計を学ぶ機会をもっていただきたいと願っています。

■日々振り返るべき授業設計の原点……佐藤みつ子

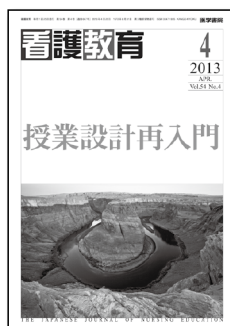
■インストラクショナルデザインとしての授業設計……鈴木克明

■「教員」が学んできた授業設計、「看護教員」が学んできた授業設計……新保幸洋

■今、教員養成課程で教えられている授業設計……酒井恵子・岸良俊弘・木下紀子・近藤奈緒子

■看護教育課程における授業設計が目指すもの——学生の探求的視点を促す意図的な授業の仕掛け……塚本都子

■【座談会】学びからの時間経過によって変わる？ 授業への姿勢……藤本奈緒子・和氣未央・井上奈央



【2013年3月号 (Vol.54 No.3)】

**看護師国家試験合格率
100%の秘密**

【2012年12月号 (Vol.53 No.12)】

**“特定能力”をもつ看護師の
新たな役割とその人材育成**

【2013年2月号 (Vol.54 No.2)】

**基礎看護学を再構成する・2
看護の「基礎」を教えるとは？**

【2012年11月号 (Vol.53 No.11)】

**「複数受け持ち」実習を
より効果的に**

【2013年1月号 (Vol.54 No.1)】

**基礎看護学を再構成する・1
看護の「基礎」とは何か？**

【2012年10月号 (Vol.53 No.10)】

**コミュニケーション力を育む
実習前に教員としてできること**

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2011年4月号 (Vol. 52, No.4) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.toabook.com/>)
- 2011年5月号 (Vol. 52, No.5) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) をお願いします。